



羽田神社のおみくじ



生活介護の皆さんが1月最初の営業日に、羽田神社に初詣に行きました。そのときに、事情を話して、おみくじを他の利用者の分まで授かってきました。いっぽで他の利用者がおみくじを受けたのは、1月7日(土)です。

この日、生活介護の部屋の前に整列して神妙な面持ちで自分の順番を待ちます。おみくじは一人ずつ受けます。箱の中から、1枚だけおみくじを選びます。本物のおみくじなので、難しい言葉も書いてありますが、みんな満足です。何よりも、神様に失礼のないようにと、真剣な表情がとても良かったです。これで今年も幸運です。



年忘れダンス大会

12月27日は冬休み企画の一つとして、ダンス大会を開催しました。子どもたちが踊りたいと思う曲を紙に書き、投票数の多かった曲から、スマホで調べてテレビに写します。その画像を見ながら、子どもたちは伸び伸びと体を動かします。次から次へと自分たちがリクエストした曲がかかるので子どもたちは大喜びです。でも、「新時代」や「よあそびのツバメ」って何？



大そうじ

12月29日は今年の最後の営業日でした。年末の最後の活動は、大そうじでした。大人なら嫌がる場所ですが、いっぽの子どもたちは何にでも前向きに取り組めます。みんなでやれば、そうじも楽しい活動の一つです。一生懸命働く姿を見ることができて、とってもいい雰囲気年の瀬でした。



風船羽根つき

1月4日、今年の最初の活動は、風船を使った羽根つきです。手にしているのは羽子板ですが、付くのは玉ではなく風船です。思いっきり打っても、風船はふわふわと降りてきます。そのゆっくりとした感じがとてもいいんでしょうね。多くの方で楽しむことができました。風船の感触もいいのか、その後も、羽根つきをしなくても風船は大人気でした。

ミニ門松

居宅訪問型児童発達支援では、ミニ門松づくりを行いました。いっぽの門松と同じ材料を持参して、一つ一つの材料を手で触れて、色々な感触を確かめた後、紙粘土に一つずつさして、ミニ門松の完成です。こうやって、季節の行事を取り入れることによって、季節感を味わってほしいと思っています。



まゆ玉づくり

今年もボランティアの方から、まゆ玉づくりの材料をたくさんいただきました。いっぽでは、1月9日にみんなでまゆ玉づくりに取り組みました。

まず、ミズキの木の枝に紙粘土でつくった紅白の餅を刺します。その後カラフルな飾りを付けていきます。こうやってできたのが小正月の縁起物「まゆ玉」です。放デイや生活介護の部屋に飾りました。明るい縁起物にみんな大喜びです。

